



iwork-pro.jp

クリックして
Webサイトへ
アクセス

アイ・ワーク News

iwork News Vol.12



Way of working

アイ・ワークの働き方

ご存知の方も多いかと思いますが、弊社では基本的にテレワーク体制にて業務を行っております。きっかけは新型コロナウイルスの影響にはなりますが、現在においても、代表の福原以外のスタッフは自宅にて業務を行っております。デザイン業務が主となりますので、PCとネット環境があれば、比較的テレワークが導入しやすい業種なのかもしれません。

私自身「テレワーク」という働き方は初めての経験でしたが、当初戸惑いはあったものの、現在は働きやすい環境だと感じております。とはいえ、良い部分と悪い部分もあると感じております。



“髭の似合う40代に憧れる”
ディレクター 元永
N.MOTONAGA

メリット



- 往復の通勤が不要なので空いた時間を有効活用できる。
- 休憩時間に子供の面倒を見ながら仕事ができる。(元永はいつも少し抜けて晩御飯作ってます)
- 住んでいる場所を選ばないので、栃木在住の優秀なデザイナーを雇用することができた。
- 自身の作業に集中しやすい。

デメリット



- 運動不足になりがち。
- 電車、街並み、店舗など、通勤時に得られていた外部からの刺激が希薄に。
- オンライン会議だけでは把握しづらいことも。(感情が読みとりにくい)
- 家にいると妻から鬱陶しがられる。(元永だけ?)

※元永の個人的な感想です

TOTALで見るとテレワークの「メリット」の恩恵の方が上まっているというのが私の印象ですが、

私としては今後はもっと皆様の元に、できるだけ直接お伺いする機会を増やしたいと思っている次第ですので、宜しくお願いいたします!

春のあしおと 桜のたより

3月の始め。

まだコートがいるほど寒い日もあり「早く暖かくなってほしいなあ」と思いながら、この記事を書いていました。気温の変化で、毎日の服装に悩む日々ですが、今年は桜の開花が早いということで、この「アイ・ワークnews」が届く頃にはもう、桜も満開になっているかもしれませんね。

さて、そんな「桜」といえば連想されるイベントごと多々あるかと思いますが、私が一番に思い浮かぶのは「お花見」です。とは言うものの、私は滋賀に住み始めるまで、お花見をしに出掛けたことがあまりありませんでした。なぜなら、わざわざ桜の名所に行かなくても、家を出て50mも歩けば桜並木があったからです。今はもうなくなってしまいましたが、小さな川を挟んだ両脇に桜が植えられていて、それが400mほど続いていました。絶好のお花見散歩コースです。桜の季節は一步外に出れば毎日がお花見状態。(夏は夏でセミの大合唱がすごい。よくセミ捕りしました、虫が苦手なくせに…)

家の2階からも桜が見えます。小さい頃は、2階の窓から桜を見ながら祖母とお昼を食べるのが桜の季節の一つの楽しみでした。

提灯もつけられているので、夜には夜桜が楽しめます。昼は春の日差しの中の桜を楽しみ、夜は提灯の灯りに照らされる夜桜を楽しむ。毎日の桜の咲き具合を楽しみ、満開の桜を楽しみ、晴れた日に風に吹かれて舞い散る桜の花びらを楽しみ、家のすぐ近くで桜を堪能していました。

今思えば何て贅沢なことでしょうか！

今はもうない桜並木ですが、いつもこの季節になると思い出す、私の桜の思い出です。



滋賀の私的!桜スポット

滋賀と自宅をこよなく愛する
デザイナー 野原
A.NOHARA



ちなみに、滋賀の私的!桜スポットは、おごと温泉駅のホームの目の前の桜です。(マイナーにもほどがありますが)通勤の行き帰りにいい感じに電車の中から桜が見えます。琵琶湖疎水も綺麗ですね。また行ってみたいのは満開の頃の「海津大崎の桜」です。行ったはいいけど、満開前の雨の日という「さすが雨女!」としか言いようがないコンディションでした。

おごと温泉駅
ホーム前の桜

